

## ■ CAEのための材料力学基礎講座(web)の開催 (会員限定)

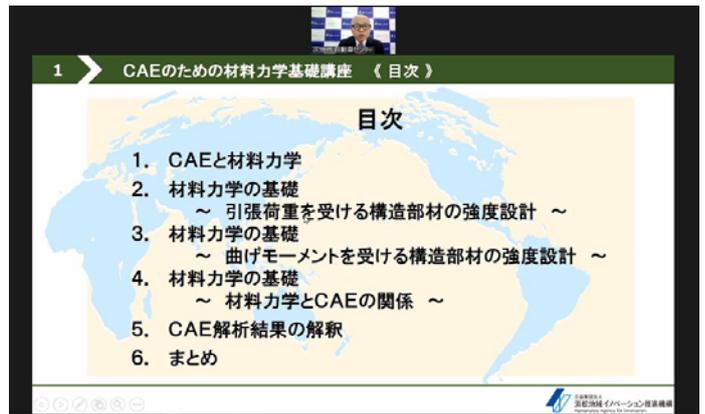
近年、自動車産業のデジタルものづくりが注目され、積極的に取り組むべき課題のひとつになっています。特に「CAE」は部品の開発や金型・治具などの設計など、その応用できる範囲が広いツールのひとつです。CAEを実際の部品設計に生かす為には、CAEの解析結果の意味を正しく理解する必要があり、また、その解析結果が妥当なのか判断し、設計へのフィードバックとしてどの様に形状を変更すれば良いのか知る為にも、材料力学の基礎を学ぶ必要があります。

次世代自動車センター浜松では今回、当センターの望月センター長を講師として、「材料力学」をあらためてCAEと関連付けて理解するための基礎講座を下記のとおり開催しました。

■日 時：令和3年12月7日(火) 13時30分～15時30分

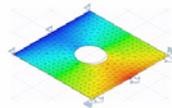
■場 所：Web形式

■参加者：45社/71名



2021年度 自動車工学関連講座 Webセミナー

### 「CAEのための材料力学基礎講座」



公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構  
次世代自動車センター浜松

2021年12月7日



### 【参加者の声】

- CAEを活用するにあたって、材料力学の知識が、より理解力や活用術を深めると思った。
- 現在CAEによる解析業務歴4か月のため、材料力学やCAEに関してよい復習の機会となった。
- CAE解析がどのようなプロセスで行われているか、十分に把握できていなかったことを再認識でき、今後、解析結果を評価する際に生かせる内容だった。
- 解析結果の見方や優先順位について理解していなかったため、今後は活用していこうと思う。
- 解析結果の確認の順番が明確になった。
- 具体例を交えて気をつけるべき点等ご教示いただき、参考になった。
- 材料力学の講義を受けたことが無い者、しっかり勉強してこなかった者もいるため、材料力学のさわりの部分を聞くことが出来て良かった。
- 応力やひずみ等、図での説明が分かり易く、特にCAE解析結果の解釈については大変参考になった。
- CAE解析で普段出力してもらっている内容(歪や応力)の根本の定義や正しい見方などの理解が深まった。
- FEM処理の概要を知ることによって、CAE結果を確認するときの観点が理解できた。また勉強しなおすモチベーション、目的が持てた。
- 改めて基礎内容の把握になった事と、説明が簡潔で分かり易かったため、他の人に教える際の参考にとってもよかった。
- 材料力学の基礎～CAEの考え方まで、順序良く受講出来た。
- CAE解析の結果を考えるうえで、線形解析である点を考慮することが大切であることが良くわかった。
- これから解析業務に取り組む身として、解析が得意なところと苦手なところ、結果をどのように判断すればよいのかが分かり、参考になった。
- CAE解析データを判断する立場として、材料力学の基礎知識が必要だったため参考になった。
- 以前は計算式を用いて設計を行った事もあったが、現在はあまり強度計算を必要としない設計を行っており、基礎的な部分の見直し・計算等 講義を通じて参考になった。